

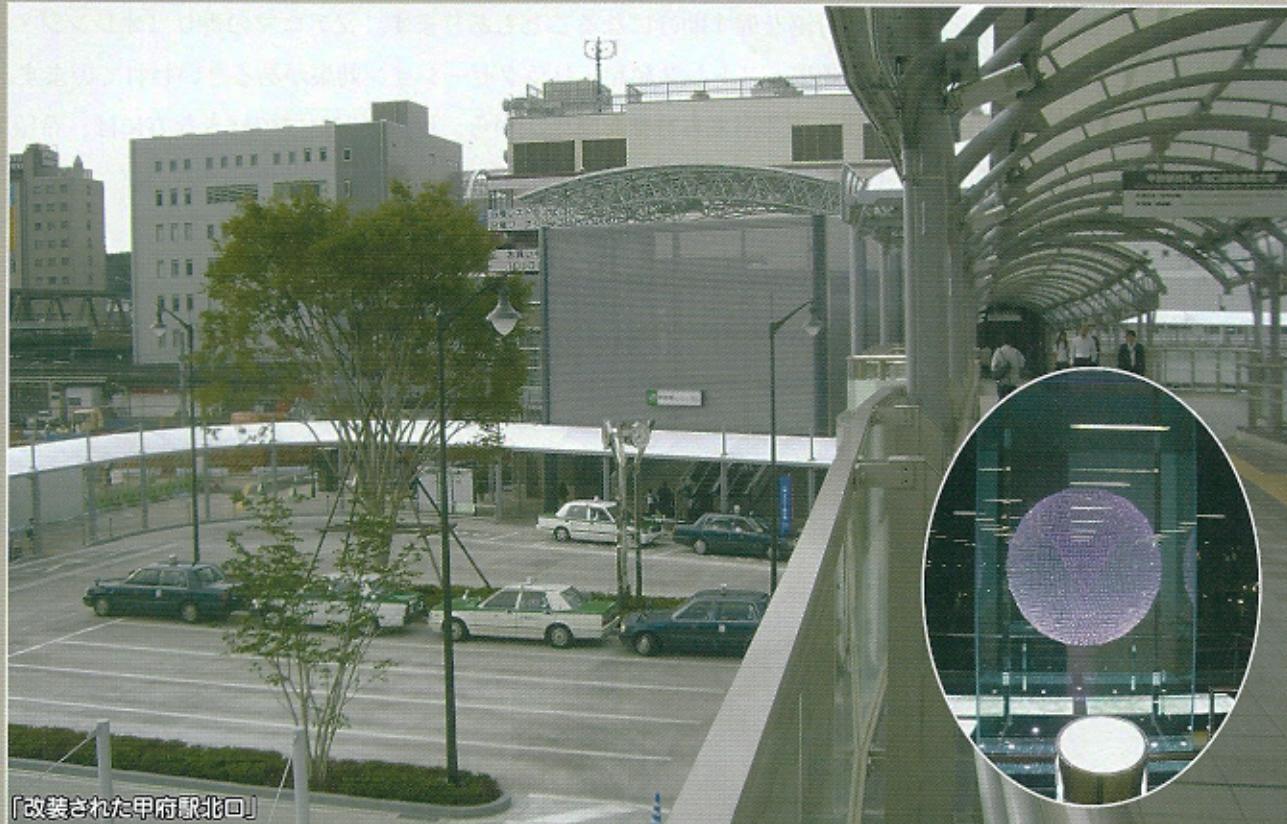


## 目 次

看護部だより	1
医療安全管理室より	2
職場紹介「リハビリテーション科」	3
ア・ラ・カルト「スポーツ・膝疾患治療センター開設3周年記念講演を終えて」	4
お國自慢	5
お知らせ「作品紹介」「久富副院長知事表彰受賞」	6
患者数	6
外来医師担当表・特殊外来ご案内・就職説明会	7

発 行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会  
発行責任者：長沼博文  
住 所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35  
電 話：055-253-6131  
ファックス：055-251-5597  
ホームページ：<http://www.kofu-hosp.com/>  
E メール：[kofu@kofu.hosp.go.jp](mailto:kofu@kofu.hosp.go.jp)

携帯サイト用 QR コード



今年7月、甲府駅北口の改修工事が終り、美しい新たにした甲府駅北口がお目見えしました。

新しい甲府駅北口はロータリーを跨ぐペデストリアンデッキを備え、駅北側各所へのアクセスが容易になった他、入ってすぐの待合広場には、甲府名産の葡萄と水蜜桃をモチーフとしたオブジェ（丸皿のみ）が設置されるなど、甲府の新しい玄関口にふさわしいものとなりました。

9月には名物「鳥もつ煮」がB級グルメの大会「B-1グランプリ」で金賞に輝くなど、ますます注目を集めます街・甲府。

その中心としてこの甲府駅が担う役割は、ますます大きくなることが期待されます。

(写真・文 管理課庶務係 山田昌弘)



独立行政法人国立病院機構  
甲府病院 の理念

## 理 念

私たちは、良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

## 基本方針

●丁寧な説明に努めます ●自己研鑽に励みます ●職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします

病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

## 看護部だより

# 産科病棟の取り組み ～産後のリラクゼーション～

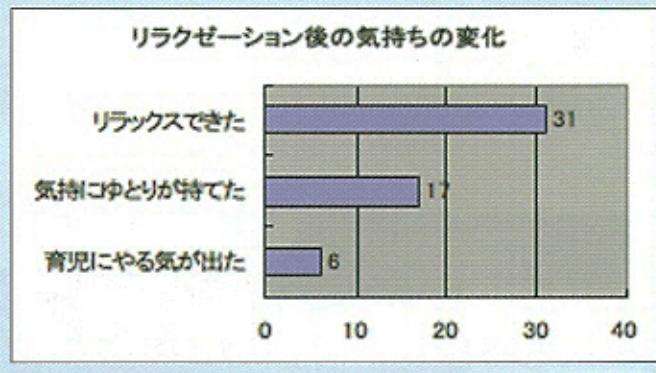
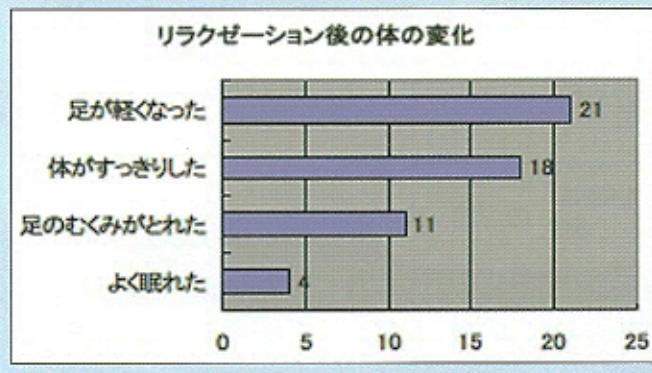
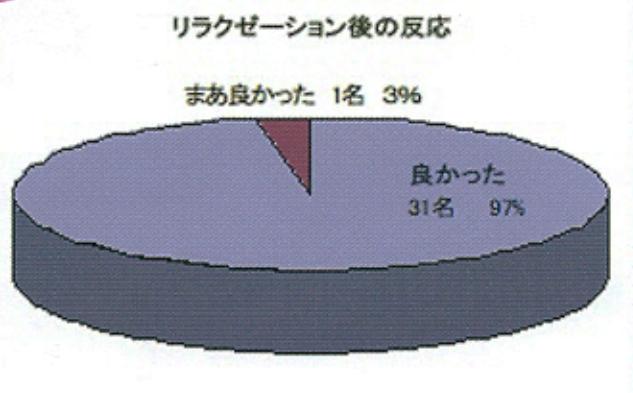
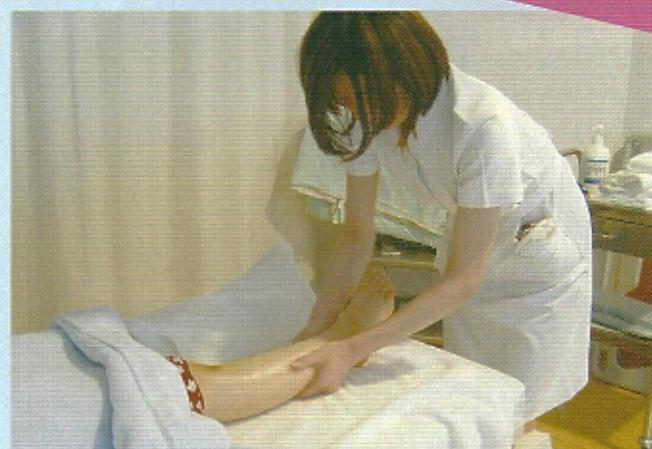
近年、産褥婦への足浴やアロマテラピーなどのリラクゼーションの効果が評価され臨床において導入されてきています。当院でも平成22年1月より取り組みを始めましたので紹介致します。

○分娩後の母親は体力が消耗し、ホルモンバランスなど、身体的に大きく変化する時期にあります。それと同時に赤ちゃんの育児が始まります。その為、分娩時の苦痛や疲労などを取って頂いて赤ちゃんと過ごし、元気に退院して頂きたいと考えています。

○リラクゼーションの効果としては、血流を促し、全身をリラックスさせる効果があります。血流が良くなることで下半身のむくみや乳房を温め母乳分泌を促す助けになることもあります。又アロマの香り（オレンジ・イランイランなど）には鎮静効果・覚醒効果・ストレス緩和・リラクゼーション効果があるといわれています。

○当院では分娩後2～3日目頃に、リラックス出来る音楽を聴きながら、足浴（アロマの好きな方には、希望で芳香浴）を行い、その後膝下のオイルマッサージを行っています。

## 体験された32名の方の感想



当院でのお産後は、リラクゼーションで、お産と育児の疲れを癒やし、笑顔で楽しく子育てをして頂きたいと願っています。

これからも出産に関する支援を行って行きたいと思います。ご意見等ありましたらお寄せ下さい。

# 医療安全管理室より 「患者さんと一緒に医療安全」 ～くすりの取り扱い～

医療安全管理係長 中田 寛子

当院では、在宅で内服している薬がある患者さんには、入院時または入院後、薬を持参して頂いております。

患者さんが日々内服している薬の中には、一時的なもの、継続が必要なもの、特殊な種類のもの、特別な飲み方をするものなどがあります。そのため、入院後の治療に際し、持参した薬の種類や継続して内服可能か等を確認しております。

持参して頂いた薬の中には、粉末薬や水剤のように外観からは薬の種類が判別できないものや、リウマチの治療薬のように内服期間と方法が定められているもの等があります。そのため、薬手帳や薬の説明書を持参して頂き、薬の種類や内服方法を確認する際の参考にさせて頂いております。



## 入院後、安全に薬を内服して頂くために、

**薬手帳や薬の説明書をお持ちの場合は、  
薬と一緒に提示していただきますようにお願  
いいたします。**



### <情報提供>

### 包装シートのままの誤飲に注意



小児や高齢者が左の写真のような包装シートのまま薬を飲み込んでしまい、喉や食道を傷つけてしまうという事故が発生しているとの情報があります。特に高齢者の場合は薬を飲む機会が多いため、事故の発生も多い傾向にあります。

薬を包装シートのまま飲み込んでしまい自力で取り出すことが難しい場合は、内視鏡で取り出すことになり、身体への影響が大きくなります。



## ▼誤飲事故を防ぐために・・・・

① 1錠づつ切り離さないように管理してください。

(薬の包装シートは1錠づつ切り離せないような構造になっています。)

② 1回に複数の薬を服用する場合は一包化してもらいましょう。

(注：一包化できない薬剤もあります。医師、薬剤師等とご相談ください。)

③ 高齢者の場合、気付かずに服用してしまうことがあります。周りにいる方も気を配つて頂きたいと思います。

## 職場紹介

## 「リハビリテーション科」

主任理学療法士 中川 正之

「リハビリテーション」という言葉は、今まで耳慣れなった言葉になっていますが、少し前は仕事の内容を説明するのに一苦労したものです。しかし、今日でも「リハビリ」という言葉からイメージされる内容は、人によって異なるようです。例えば、「運動をして体を鍛える」「弱った体を元に戻す」などの、運動機能の回復をイメージされる方が多いのではないでしょうか。これもリハビリの大重要な一分野には違いありません。しかし、「リハビリテーション」という言葉は、人々「何らかの原因で失った地位や権利を再び獲得する」、すなわち「復権」という意味で使われていたようです。

当科は、理学療法士6名・作業療法士3名・言語聴覚士1名・マッサージ師1名の構成でリハビリテーションに取り組んでおります。施設認定基準は、脳血管Ⅰ、運動器Ⅰ、呼吸器Ⅰのリハビリを取得しております。当科では、2007年6月のスポーツ・膝疾患センター開設以来、膝半月板損傷・前十字靱帯損傷等などのスポーツ外傷を主体とした整形外科疾患が最も多く、その他に重度心身障害児(者)・脳神経外科・外科・内科等様々な疾患に対してリハビリテーションを提供しております。

当科は病院の理念である「良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します」に沿いながら、患者さんの社会復帰や家庭復帰を、医師や看護師・ソーシャルワーカーをはじめ、患者さんを取り巻くさまざまな職種の方々と連携し支援していくことを目指しています。



## ★新・任・の・ご・あ・い・さ・つ★



言語聴覚士 國井 真嗣 (くにい まさつぐ)

4月よりリハビリテーション科に赴任しました言語聴覚士の國井です。甲府病院に言語聴覚士の配属は初めてとなります。まだ新しく聞き慣れない職種かと思いますが、主に言語障害や認知障害、嚥下障害のリハビリ・検査を行います。まだまだ手探りの状態でご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、患者さんやその御家族により良いサービスが提供できるよう努力していきますので宜しくお願いします。

## 作業療法士 真下 綾香 (ましも あやか)



4月1日付けで西新潟中央病院から参りました作業療法士の真下です。よく間違われるのですが、“ましも”と読みます。今年、甲府病院の作業療法士は私を含め3名となりました。現在は、重心病棟でのリハビリが多く、一般病棟では整形疾患や脳血管障害の方を担当させて頂いております。重症心身障害児・者の方々は独自のコミュニケーション方法をもっていらっしゃる方が多く、慣れるまでに時間がかかることがあります、一人一人それぞれキャラクターがあって、楽しいなと思いながら関わらせていただいています。どうぞよろしくお願い致します。



作業療法士 桔梗 隆司 (ききょう たかし)

7月1日より新しく赴任致しましたリハビリテーション科の桔梗と申します。今年の3月に千葉県にある専門学校を卒業したばかりの新人作業療法士です。山梨は始めての土地ですが、毎朝、自転車で川のせせらぎを聞きながら通勤していますと、山梨の自然の豊かさを感じることが出来て心が癒されています。まだまだ不慣れなところばかりで、皆様にご迷惑をおかけしていますが、患者さんやご家族のお役に立てるよう努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

# アラカルト

## 「スポーツ・膝疾患治療センター開設3周年記念講演会を終えて」

外科系診療部長 萩野 哲男

おかげさまで、スポーツ・膝疾患治療センターは開設3周年を迎え、去る平成22年9月4日の土曜日に国立病院機構甲府病院スポーツ・膝疾患治療センター開設3周年記念講演会ならびに第一回山梨スポーツ・膝疾患研究会を開催いたしました。その対象者は整形外科医師のみならず、山梨県内の中高大学のスポーツ選手をはじめ、スポーツに携わる理学療法士、柔道整復師、さらには当院で治療された患者さんなど多くの皆様に声をかけさせていただきました。おかげさまで当日は会場が満席となり、300人を越える多くの方々にご参加いただき、無事盛況のうちに終了することができました。ご協力・ご尽力いただきました皆さんに心より感謝申しあげます。



▲特別講演中の森照明先生

はじめに当院の整形外科医長である落合 聰司先生が「膝のスポーツ障害に対するスポーツ・膝疾患治療センターの取り組み」と題して、膝内視鏡手術の説明、チームドクターとしての山梨学院大学ラグビー部へのかかわり、さらに当センターの手術の現状などについて報告させていただきました。講演終了後に当センターで膝の靭帯手術を受けた二人の患者さんから花束の贈呈を受けたことには紙面をかりてお礼申し上げます。その後の特別講演では、遠く大分県から来県されました湯布院厚生年金病院病院長である森 照明先生の講演をいただきました。森先生は『スポーツ現場での臨床脳スポーツ医学』と題し、日本オリンピック委員会強化スタッフ、日本卓球協会ナショナルチームドクターなどの経験から、メンタルトレーニングや脳振盪、さらに熱中症など現場で役立つ多くのお話をされ、聴講された方々の大変役に立つ講演であった確信しております。

多くの皆様の御支援により当院整形外科の手術件数は年間500件を越え、このうち膝関節の内視鏡手術も300件以上となっており、山梨県内のスポーツ傷害患者さんのお役に立てることは大変光栄なことと存じます。今後も医師のスキルアップに努め、スポーツ・膝疾患治療センターが皆さんのお役に立てるよう邁進する所存であります。どうぞ、ご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。



▲講演中の落合聰司医長

# お 国 自 慢

事務部 企画課 契約係 山本 明日翔



契約係の山本 明日翔です。今年の2月に熊本県から山梨県にやってきました。私の出身地、熊本県をご紹介します。

熊本県は関東地方に比べて温暖で、特に冬が暖かいです。

私が引越してきた日は大雪でした。生まれて初めて雪らしい雪を見て、故郷を遠く離れたことを実感しました。

山梨県のみなさんが考える熊本のイメージといえば、熊本城に阿蘇山でしょうか。

阿蘇山の雄大なカルデラと外輪山が有名な活火山です。

富士山とは姿が全く異なりますが、どちらも美しい山です。阿蘇山と富士山の大きな違いは、車で山頂まで行くことができる事であります。周辺にはキャンプ場や乗馬がで

きる牧場があります。そして、素晴らしい泉質の温泉  
がたくさんあります。



熊本城は別名「銀杏城」とも呼ばれています。日本3大名城の一つ数えられる 加藤 清正 所縁のお城です。隣接して築城された壮大な大天守閣と小天守閣の対比が見事です。

どちらも熊本に遊びに来たときには絶対に外せない観光スポットです。

さて、ここでとっておきのグルメ情報をご紹介します。「馬刺」や「からし蓮根」も有名ですが、私の一押しは『いきなり団子』です。山梨の方にはあまり馴染みがないかもしれません。輪切りにしたさつまいもを小麦粉で練った生地で包んで蒸し上げます。『いきなり』とは古い方言で『簡単に』という意味です。急なお客様が来ても短時間で簡単に作ることができる事から、この変わった名前が付いたと言われています。

熊本の家庭ではごく普通に作られている伝統的なお菓子です。最近では、さつまいもの上にあずき餡を乗せて生地で包むこともあります。

熊本に遊びに来たときには、是非食べてみてください。おいしいですよ。



山梨日日新聞

## お知らせ

## 作品紹介

前回の「てんじん 36 号」にて、広く一般読者の方より作品を募集したところ、4 病棟の入院患者さんであるスワオサム様より、素敵なイラスト作品が届けられました。

作品を提供してくださいましたスワ様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



牧先生



浅川先生



鈴木先生

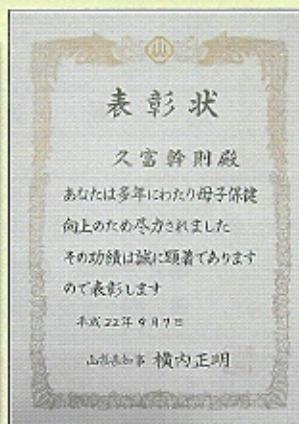


黒田先生



## 久富副院長 知事表彰受賞

平成 22 年 9 月 7 日（火）の第 53 回山梨県愛育大会において、久富副院長先生が母子保健功労者として長年の功績が称えられ、横内山梨県知事より『山梨県知事表彰』を授与されました。



[山梨日日新聞 H22.9.8]

### 平成 22 年度一日平均患者数

## 入院

※9月分及び年間累計は9月末日現在（小数点以下第2位は四捨五入）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般	99.9	91.6	89.0	94.5	105.3	101.4							97.0
重心	121.1	120.5	121.5	122.5	122.8	120.9							121.6
計	220.9	212.2	210.5	217.1	228.1	222.3							213.5

## 外来

※9月分及び年間累計は9月末日現在（小数点以下第2位は四捨五入）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	257.8	273.8	252.9	252.8	252.4	261.9							258.1

## 外来医師担当表

平成22年10月1日現在

		月	火	水	木	金	
一階診察室	内科	1 渡邊	10時~ 渡邊	渡邊	渡邊	渡邊	
		2 黒澤	黒澤	黒澤	呼吸器科 菱山	黒澤	
		3 川口	循環器科 佐野		中尾	太田	
		4 呼吸器科 薬袋	古屋	古屋	循環器科 薬袋	循環器科 薬袋	
		5					
特殊外来 午後3時~			渡邊				
二階検査室	外科	1 鈴木	牧	角田	鈴木	牧	
		2 浅川			乳腺外来 高橋	肝臓外来 鈴木	
二階検査室	消化器科	1	稻岡	稻岡			
		2 澤田	澤田	澤田		澤田	
二階診察室	整形外科 (スポーツ・疾患治療センター)	1 萩野	渡邊	渡邊	萩野	萩野	
		2 千賀	落合	落合	落合	千賀	
		3					
内視鏡		稻岡	大学医師	大学医師	澤田	浅川	
二階検査室	工コ一	午前	大学医師		腹部検査科 心臓 薬袋	頭部検査科	
		午後			心臓 薬袋		
二階診察室	小児科	1 内田	内田	加賀	久富	久富	
		専門外来1 (午後)	神経 番	神経 中村	神経 神谷	第1・3週 小野	
		専門外来2 (午後)	フォローアップ 久富	フォローアップ 久富		代謝 内田	
脳神経外科(2階旧泌尿器科外来)		長沼		長沼	長沼	長沼	
泌尿器科			大学医師 (予約のみ)				
二階診察室	産婦人科	1 滝澤	雨宮	高木	雨宮	滝澤	
		2 雨宮	高木	第1・3・5週 雨宮 第2・4週 滝澤	滝澤	高木	
		3 妊健 助産師外来			妊娠 助産師外来		
眼科		予約のみ 10時迄	地場	地場		地場	
耳鼻咽喉科					矢崎		

●受付時間 初診/午前8時30分~午前11時00分 再診/午前8時20分~午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)

●予防接種(小児科) 毎週木曜日(完全予約制)

●毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師

●乳児健診 毎週火・金曜日(完全予約制)

●人間ドック 毎週火・木曜日 脳ドック 毎週月・火曜日午後

## 特殊外来ご案内

「乳腺外来」については、毎週木曜日の午前中に行っています。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。

「肝臓専門外来」については、毎週金曜日の午前中に行っています。近親者に肝炎の方がいらっしゃるなど自分も肝炎にかかっているのでは、とご心配な方、健康診断で肝機能障害を指摘された方などは受診されることをお勧めします。

「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。認知症かな、と思ったら、受診されることをお勧めします。

## ◇平成22年度 看護職員就職説明会◇

平成22年度  
看護職員就職説明会は  
8月4日をもって終了しました。  
採用ご希望の方は  
下記までご連絡下さい。

申し込み方法	*下記の電話番号に(土日休日以外)に直接ご連絡下さい。
連絡先	国立病院機構甲府病院 看護部 副看護部長 白川 由起子 TEL: 055-253-6131 FAX: 055-251-5597